



3歳以上のクラスは、ご案内の通り2月12日から仮園舎で保育を行っています。旧園舎からの引っ越しでは、たくさんの保護者の皆様にお手伝いいただき、とても助かりました。ありがとうございました。解体・建設のための仮囲いを設置するために園庭はほぼ半分くらいの面積になってしまいました。建設の進捗状況に合わせて仮囲いの位置を北にずらすことにしていますが、本来の園庭に戻るのは新園舎完成の来年の1月末になる予定です。送迎等でご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

3歳以上のクラスでは、いよいよ卒園に向けての活動が先月から始まりました。年長児が乳児クラスで過ごす「思い出を作ろう」も、活動の一つです。年長児が保育園で過ごした日々を卒園した後も心に残し、大きく成長してほしいという私たちの願いがあります。こうした体験から人に頼られる経験、年下の子たちのお世話をする喜びを感じ取ってほしいと思います。きいろ組の年長児の様子を保育日誌からお伝えします。年長児の成長した姿やほのぼのとした交流の情景を思い浮かべてください。 園長 平野弘和

【2月19日 きいろ組】

今日はきいろ組の年長児はちゅうりっぷ組へ入った。部屋に入ると、少し緊張している様子の年長さん。2グループに分かれて園庭遊びに出たが、一翔はとともやさしく声を掛けたりジャンパーを着せたりしていた。花音も「できる？」と聞いて、とともやさしく接していた。最初は緊張していたが、少しずつ慣れてきてちゅうりっぷ組の子ができないことを手伝う姿が見られた。佑芽は弟の凧々翔がいて、一緒に行動していたが、佑芽も凧々翔もとても嬉しそうだった。また、凧々翔だけではなく、他の子とも関わっていたので、よかった。「剣玉を見せたい」「かっこいいところを見てもらう」と張り切っていた。剣玉を見せる時間を作ってもらい、みんなの前で披露した。「すごい」と拍手してもらい、とても嬉しそうな年長さん8人であった。部屋を出た後に「楽しかった」と言っていた。年長児らしい姿を見ることができて私自身嬉しくなった。

【2月19日 ちゅうりっぷ組】

きいろ組の年長児がちゅうりっぷ組に来てくれる「思い出を作ろう」の初日。保育室に年長児が入ってくると、すぐに子どもたちは静まり、年長児を観察していた。年長児と関わる機会は少ないので緊張する子も多いと思う。触れ合いが楽しい思い出になるように関わっていきたいと思う。最初は戸惑っていた様子の見られた年長児であったが、剣玉を披露すると、ちゅうりっぷ組の子どもたちから自然に拍手が起きた。「すごいね！難しいんだよ」と伝えると、剣玉に興味を持ったひまりは手を伸ばして触っていた。「お外へ行くから準備しよう。ジャンパーを着るのを手伝ってくれる？」と桜大と小梅に頼むと、小梅は「わかりました」とはきはき返事をした。ひまりは小梅に上着を着せてもらい、手を引かれて玄関に行った。桜大は見守りながら絢乃や和花の身支度を手伝っていた。できていないところを援助してくれていたのには感動した。和花は桜大と手を繋ぎ、その後も桜大の後をついてまわり関わりを喜んでた。砂場や冒険砦で補助してもらったり一緒に滑ってもらったりしていた。最初は戸惑いのあった子どもたちも触れ合いを通して関わりを喜ぶ姿や年長児に対しての憧れの眼差しを感じた。